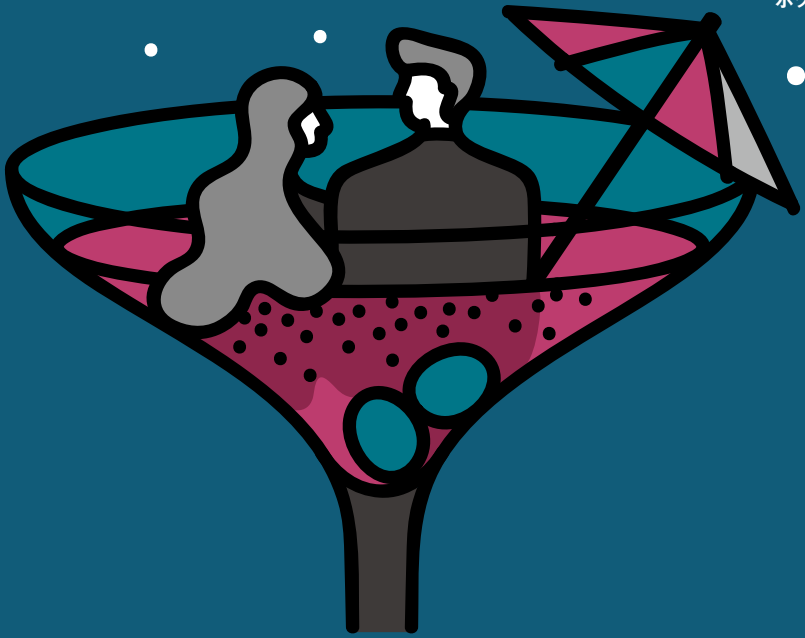
TAKE FREE
第11号
2017年12月
ポット出版



神宮前二丁目新聞

Jingumae 2chome Shimbun

神二（じんに）で暮らす、働く、遊ぶ。
地元メンバーが届ける、超地域限定フリーマガジン。
今号は「大人」をテーマにお届けします。

今夜もどこかでハシゴ酒

裏 神二の歩き方

「神二（じんに）の夜は静か」なんて
思っていたら大間違い。
あちこちの酒場を舞台に、のんべえな
大人たちが毎晩のように繰り広げる
「裏神二」の世界をのぞいてみよう。

神二で呑み歩く大人のみなさんに写真提供をお願いしたところ、3日間で80枚以上も集まりました!

ビール片手に取材開始!

大人の足なら30分ほどで一周できる神宮前二丁目。最寄り駅は複数あるけれど、どこからもちょっと遠い。そんな街のわりにお酒を楽しめる店が多く、編集部が知っているだけで30軒近くもある。その中で、常連たちが呑み歩く「裏神二」なる文化があるという。夜の神二に集い、仲間内でプロポーズを見届ける会もやったらしい。一体、どんな大人たちが、どこで呑んでいるのか？「裏神二」のメンバーから店を聞き、取材と称してビールを呑み歩きながら探ってみた。

ゴミを出したその足で呑みに行く

まずは、唐揚げや牛煮込みが自慢の「弐万馬力」で腹ごしらえ。その後、立ち呑み屋「海」で呑んでいると、キヨさんという男性がやって来た。神二で呑み歩き歴7年。「夜、マンションにゴミ出して、そのままふらっと呑みに来る」というキヨさんいわく、「この辺はチャラチャラした子が来ないから落ち着いて飲める」そう。「神二は大人の社交場って感じかな。酔って寝てる人の顔に落書きとか大人げないこともするけど、基本はみんな分別のある大人たち。必ずどこかで知り合いに会えるし、毎晩さみしくないですよ（笑）」。キヨさんの言葉どおり、このあと連れて行ってもらった沖縄料理の「あいあい」でも、裏神二の仲間たちが呑んでいた。

明け方の神二でほふく前進

大人といえど、いや大人だからこそ、ハメを外すときもある。バー「けんちゃん」で会った神二在住のキーチクさんもそんなひとりだ。神二でテキーラを10杯以上呑んだ日、「大人なんだから大丈夫よ」と言われひとりで家に向かったが、泥酔して歩けず、夜明け前の神二でほふく前進したという。「自宅の前はさすがに恥ずかしいから歩こうとしたけど、足がもつれちゃって。確実に前に進むため、でんぐり返りして玄関までたどり着きました」。

シラフなら1分半で帰れる距離なのに、すり傷だらけで5時間かけて帰宅。後日、裏神二の大人たちで「飲み過ぎ反省会」をしたそうだ。

写真上／神二のモテ男と噂されるキヨさんに立ち呑み屋「海」で取材。写真右／度数の強いコブラ酒を3杯も呑み、男気を見せてくれたキヨさん。「需要があればブロマイドをプレゼントしますよ」

はしご酒コミュニティ「神二サーフィン」

そもそも「裏神二」の話を教えてくれたのは、「ふなっちゃん」こと船津昌美さん。神二歴17年のテキスタイルデザイナーだ。「呑み仲間が多いから自分たちは神二の『表』だと思ってたけど、神二新聞にあまり知り合いが出ないから、私達って『裏』の存在?って思ったの(笑)」

神二で呑み歩くことを「神二サーフィン」と呼ぶ船津さん。仕事で疲れた日も、どこかに寄って仲間に会わないと1日を終えた気がしないらしい。「呑み歩いていると、いろんなお店で何回も同じ人に会うことも。自分よりあとから来た人には『今日はどこから来たの?』、先に帰る人には『行ってらっしゃい』と声をかけるのが習慣。神二は老若男女、境目なく自由に行き交う"村"のような存在ですね」

年齢や職種はさまざまだけど、『お酒好き』という共通点でつながる裏神二の大人たち。仲間入りしたければ、ひとりでお店に飛び込むべし。きっと裏神二の村人が声をかけてくれるはずだ。

ふなっちゃん流

神二サーフィンのススメ

私にとって「裏神二」と言えばここ、というお店がこちら。裏神二でおなじみのメンバーも紹介しま〜す。

ある日の神二サーフィン

- 1軒目 海
- 2軒目 ブラウンホース
- 3軒目 けんちゃん
- 4軒目 時田屋
- 5軒目 アフターサヤック

神二のテキスタイルデザイン事務所「F/plot」代表の船津さん。神二で出会った男性と結婚し、披露宴には裏神二の仲間たちを70人ほど呼んだそう。

カウンターでまったり♪
けんちゃん
常連のたけひこさん

70〜88歳のレジェンドたちも通うバー。カウンターには前オーナー「けんちゃん」の奥様クミちゃんが立ってます。

うっしー
裏神二の自治会長的存在

ようこそジェイミーワールドへ
アフターサヤック

オーナー・ジェイミーの奥さんが中心となって15年ほど前まで「神二ナイト」という音楽ライブをやってました。

常連 キーチ 助っ人バイト中

えびちゃんの大人バー **Ebony**

ちょうじゃ **丁子谷世代**
丁ちゃん
モテ男…? きよちゃん
キヨさんのシメは「あいあい」で
常連

おいしい沖縄ごはん
あいあい

裏神二の集会所
ラーメン **時田屋** ぎょうざ

肉をがっツリ
ブラウンホース
BROWN HORSE

コージ
スタッフ・コージさんは仕事帰りに「あいあい」で一杯。

音楽好きはこの店へ!
ポピーズ bonobo date.

立ち呑み
海
ヤッチ

ミュージシャンのヤッチさんとそのお父さんがオーナー。

毎週月曜「海」に通ってます

オレたちチーム44才
キッチン村山
モトキさん
ヤスくん
ちーちゃん

カラオケもできる焼肉屋さん
じんじん
常連 亮くん

SHOP DATA ●海(神宮前2-23-4/17時〜夜中)●ブラウンホース(神宮前2-17-6/18時〜翌3時)●けんちゃん(神宮前2-19-10/18時〜翌2時)●時田屋(神宮前2-20-11/19〜23時)●アフターサヤック(神宮前2-20-12/21:30〜お客様次第)●じんじん(神宮前2-3-30/19時〜翌2時)●藹藹あいあい(神宮前2-19-2/18時〜翌2時)●Ebony(神宮前2-23-4/22時〜翌5時)●ポピーズ(神宮前2-20-12/20時〜翌3時)●date.(神宮前2-20-10 3階/18〜24時)●bonobo(神宮前2-23-4/19時〜翌5時)

▶お店の地図は裏表紙へ

届け！まっすぐなこの想い

神二にあふれる 愛のコトバ

大人のみなさん、大切な相手に気持ちを伝えていますか?
神二の街行く人たちに書いてもらったラブレターのように、
あなたもあの人に想いを伝えてみよう！

▲神二商店街のイベント「ピープルデザインストリート」で「愛のポスト」を設置してラブレターを投函してもらいました。

TO: 先輩
ずっと尊敬してます。急に亡くなった時は悲しかったけど、天国で機械の料理を作っているのかな？また会いたいです。
FROM: T

TO: リンへ
リンと過ごした1ヶ月は宝物デス♡生まれ変わっても、うちの子になって来♡ワンワン
FROM: リュのママ

TO: 父・母へ
毎日元気に暮らしてます。これからも幸せな人生にしていきます。
FROM: 翔より

TO: MAMA
いつもおこらせちゃったりするけど、いつもありがとう！大好きだ!
FROM: ???

新婚さんの往復ラブレター

TO: 恵奈
いつも笑いをありがとう！
FROM: 幸也

TO: ゆきちゃん
明日で結婚1周年!! これからもずっとよろしくね!! おいしい奥さんより
FROM: 0.0

神二で遊ぶ
和田幸也さん・恵奈さん夫妻
もともとはデザイン事務所の先生と助手の関係だったという12歳差のカップル。愛を長続きさせるヒケツは「嫌なことは言い合う、そして一緒にごはんを食べてすぐ忘れる」こと。

新婚さんの往復ラブレター

TO: アンニへ
35億分の1で出会った奇跡を大切にしてこれからもよろしくね!!
FROM: 征生

TO: まさおへ
二人で自分らしくいられるのはいつも幸せだよ。これからもよろしくお願いします!
FROM: Anni

神二在住
林征生さん・アンニさん夫妻
代々木公園でピクニック中の奥さんに、旦那さんが声を掛けたことが出会い。愛を長続きさせるヒケツは「DIYやホームパーティーなど、共通の趣味を2人で一緒に楽しむ」こと。

TO: すべての女性へ
うるわしのKitchenより
愛をこめて。
日本語の愛という字は「心を受ける」という漢字
FROM: Kitchen

TO: 中邑真輔様
海外でのファイトを観るたびに勇気をもらっています。
今でも大好きです。
FROM: NONOKA

TO:
Mr.サワベさんをひっとうに神二のみんなが大大大好きです!! 今日もありがとう!!
FROM: by Aya 紫金

みんなの神二愛が試された「神二検定」全問正解者はたったの4人!

神二新聞第10号に掲載した「神二検定」。10月に開催された神二商店街のイベントで、当日受検＆正解発表を行いました。

根性で全問正解!

初対面だけど協力し合って全問正解！

答えを求めて、神二に詳しい商和会のかたたちに話を聞く男の子。

お兄さん2人は、この日初めて神二に来たそう。全く知らない町の、よく分からない検定になぜここまで本気になれるのか…その熱意に編集部も脱帽。

「神二検定」の解答は裏表紙でチェック!

ヘアーサロン「CURE」のオーナー

芦澤 真人さん

（写真右）

ASHIZAWA Masato

藤井さんの髪をセットする芦澤さんと奥さん。お客さんとの距離が近い空間だからこそ、何でも打ち明けられる雰囲気が漂う。

子どもはやがて大人になる。そして「友達」が、また一人。

藤井さんの小学校、高校の卒業式、成人式の写真。それぞれの成長の節目を芦澤さんは見守ってきた。

子どものころは何でも家族に話していたのに、成長すると打ち明けにくいことって増えてくる。大人になりかけの若者は、特にそうかもしれない。そんな若者たちにとって、気兼ねなく何でも話せる大人が神二にいる。その一人がヘアーサロン「CURE」のオーナー・芦澤真人さんだ。「美容師を続けて35年。子どものころから店に来てくれて、大人になってもいろいろおしゃべりしてくれるお客さんが30人ほどいます」。

今年22歳になる藤井祐太朗さんも、6歳からCUREに通っている常連だ。「芦澤さんには好きなテレビ番組のことから就職活動の悩みまで、何でも話せます。家族のグチも聞いてもらいますね。ただし母も姉も通っているから、本当にバレたくないことは言いませんけど(笑)」

芦澤さんは、子どもたちが大人になっていく様子を長年見ていると、「この子をひと回り大人にさせたのはあの出来事だな」と感じることがあるという。さて、藤井さんの場合は？「高校のときカナダに留学してから、祐くんはガラッと変わったと思う。よくしゃべるようになったし、年に数回海外旅行に行くフットワークの軽さも、そのとき身についたんじゃないかな」

藤井さんのような元・子どもたちにとって、自分の存在は「きっと友達みたいなもの」だと芦澤さんは言う。「祐くんなんか、もう俺よりしっかりしてますしね。でも家族にはあまり相談せずに何でも決めていっちゃう面を見ると、俺にもそういうところがあるな、と思ったり」

幼なかった子どもたちが成長し、いつの間にか尊敬するところや自分との共通点を見つけられる「友達」になっていく。その変化に気づく瞬間はとても嬉しいそうだ。「これまでお母さんに連れられていた子が、一人でお店のドアを開けて入って来る。その日が、大人に近づくターニングポイントの一つなのかもしれませんね」

SHOP DATA

ヘアーサロン CURE

住所▶神宮前2-14-10　電話番号▶03-5775-2322

Web▶www.cure2002.com

［▶お店の地図は裏表紙へ］

どこまでつながる？

神二でいい友リレー

神宮前二丁目で暮らす・働く・遊ぶ人が、神二の友達を紹介するこのコーナー。
前号で登場した大友さんが紹介する「いい友」からスタートです！
［▶お店の地図は裏表紙へ］

いい友 No. 14
大友良一さん
（神二新聞第10号に登場）

前号で登場した大友さんが紹介するのは

いい友 No. 15

西村和行（にしむらかずゆき）さん（61歳）

福岡県北九州市出身。「もつ鍋旦過」（神宮前2-15-2）の大将。自分が大人げないなぁと思うのは、「うなぎが食べられない」こと。うなぎ屋ではいつもたまご丼を頼んでいる。

大友さんが語る
西村さんってこんな人

大将はとにかく若いスタッフさんたちからの信頼が厚いよね。声を荒げたり、機嫌が悪いところは見たことないな。町内会の旅行では2リットルのビールサーバーを持ち込んで、場を盛り上げてくれたよ。お店だけじゃなくプライベートでも「みんなの大将」って感じ！

西村さんが紹介するのは

いい友 No. 16

戸部広之（とべひろゆき）さん（57歳）

神二の居酒屋を呑み歩き、普段は神田明神で笙（しょう）を奏でる楽人。自分が大人げないなぁと思うのは、「お前の存在そのものが大人げないよ！とみんなに言われる」とき。

西村さんが語る
戸部さんってこんな人

うちの店ではおちゃらけているけれど、神田明神の行事を取りしきる姿はとってもまじめです。ずっとお嫁さんを募集している彼だけど、そんなオンとオフの性格を理解してくれて、一緒にお酒を楽しんでくれる女性がいいんじゃないかと僕は思うな。

戸部さんが紹介するのは

いい友 No. 17

風間実（かざまみのる）さん（45歳）

原宿駅前のカレー屋「みのりんご」オーナー。神二に住んでいて、夜は神二のバーや居酒屋に出没する。自分が大人げないなぁと思うのは、「病院嫌い」なこと。

戸部さんが語る
風間さんってこんな人

みのるちゃんはかっこいい！　商売上手！　女子にモテる！　努力家！　7年前に自分のお店をオープンするまで研究を重ねていたし、今でも一緒にゴルフに行ったとき、わざわざ食堂で「カレーください」って頼むくらいなんだから。よっ、生粋のカレー職人！

風間さんが紹介するのは

いい友 No. 18

唐鎌幸治（からかまこうじ）さん（44歳）

ステーキが名物の「ブラウンホース」（神宮前2-18-22）スタッフ。自分が大人げないなぁと思うのは、「イヤイヤ期を迎えた2歳のわが子と、ガチのバトルを繰り広げている」瞬間。

風間さんが語る
唐鎌さんってこんな人

幸治くんはズバズバ物を言うタイプだけど、的を射ていておもしろい。それが心地良くてお店に行くお客さんも多いんじゃないかな。ただたまにハメを外して、友達の家のポストに鈴虫を入れるというドッキリを仕掛けたりもするイタズラ小僧です。

唐鎌さんが紹介するのは

いい友 No. 19

村山崇（むらやまたかし）さん（44歳）

神二に住んで3年。三軒茶屋でレストラン「Kitchen村山」を経営。自分が大人げないなぁと思うのは、「チョコボールの当たりを出すため、50箱近く大人買いしている」こと。

唐鎌さんが語る
村山さんってこんな人

ひと言で表すと、おバカなさみしがり屋。「都会の喧騒から離れたい」と言って一人でキャンプに行ったのに、その様子をずっとFacebookで実況してたりね。しかも投稿の内容は「ヤカンを忘れてお湯が沸かせません」。まったくバカなんだよなぁ〜。

村山さんが紹介するのは

いい友 No. 20

菊地弘高（きくちひろたか）さん（48歳）

神二生まれの神二育ち。「ブラウンホース」などの飲食店を趣味で手伝っている。自分が大人げないなぁと思うのは、「プライベートの集まりはいつも寝坊して遅刻してしまう」こと。

村山さんが語る
菊地さんってこんな人

出会いは4年前に神二の店で。どこの呑み屋に行っても必ず菊地さんと出会うので、自然と話すように。ずっと職業を知らずに付き合っていたのですが、その後僕が神二に家を借りるとき「保険屋です」と名乗って現われ、ビックリしました。

菊地さんが紹介する「いい友」は次号に登場！

Jingumae 2chome Design Project

多様すぎる神二をまとめるスポーツとは？

［#011 公開編集会議で読者のお知恵拝借っ！］

神二オリジナルの
「ゆるスポ」
実現してみせるぞ！

デザイナー
神やっこ

プランナー
宮やっこ

**前号で、世界ゆるスポーツ協会の澤田代表に取材した神二姉妹。
「神二の路上でみんなが参加できるスポーツを創る！」というミッションを持ち帰り、
読者から「ゆるスポ」のアイディアを募ることに。
会議で上がった案を元に、神二姉妹から良き策は生まれるか!?**

「ゆるスポ」ってな〜に?

年齢や運動神経問わず、誰もが「ゆるく楽しめる」スポーツ。楽しめる場所はこたつの中、老人ホーム、路上とさまざまで、現在50種目以上。そのひとつ、バランス力が試される「うんちスポーツ」（写真左）を前号で神二姉妹が体験した。

宮やっこ▶ただいま帰りました！
神やっこ▶あれ、どこ行ってたの？
宮▶神二新聞の読者が集まる「公開編集会議」ですよ！「ゆるスポ」のアイディアをみんなで出し合ったんです。
神▶おおー。それで、それで？
宮▶参加者の女子4人がバスケ経験者で、「あと一人でチームができる！」って盛り上がりました。
神▶ストリートバスケかぁ。でも、もうちょっと新しさがほしいかな。
宮▶「高速スクワット」ってアイディアを出した人もいましたよ。
神▶……さすが神二。アイディアも多様だね。なんか、そういう一人ひとりのキャラの濃さを生かしたいよね。しかも、誰でも気軽に参加できて。
宮▶それにしても、公開編集会議のごはんおいしそうだったなぁ……。
神▶ちょっと！　人の話聞いてる!?
宮▶だって、必死でメモ取ってる間に料理がなくなっちゃったんだもん（涙）。スプーンレースみたいに、誰か僕のところまで運んできてほしかった〜。
神▶スプーンレースねぇ。そういえば子どもの頃の運動会、楽しかったな。パン食い競争とか玉入れとか、親子で参加できる競技もあって。
宮▶借り物競走で「きれいなお姉さん」ってカード引いて、近所のおばちゃんを連れて走ったなぁ。当時から、平気でおべっか使うガキでした（笑）。
神▶それいいじゃん！　神二の多様すぎる人たちを借りてくる「借り人競走」ってどう？　神二商店街の路上イベント、ピープルデザインストリートでやってもいいかもね。
宮▶それ、面白そう！「きれいなお姉さん」とかだと曖昧だから、いっそのこと、事前に一人ずつ写真を撮らせてもらって、カードにしておくとか。「ウォーリーを探せ」みたいに、人混みの中から見つけるの。
神▶まだ神二新聞に出ていない神二の人たちにも登場してもらえる良い機会かもね。写真はプロのカメラマンに撮ってもらって、お土産にしても良いし。競走ではない、他のやり方も考えたいな。
宮▶ゆるスポの澤田代表に、もう一度相談するのはどうでしょう？
神▶了解！　企画会議しましょう！

公開編集会議で「ゆるスポ」アイディア出し合いました

神二の遊び場「原宿401」のRIKOmaniaさんが作った料理を囲みながら、「ゆるスポ」の案を出し合う読者たち。

ついに神二新聞が全国区へ——

雑誌「ソトコト」に取材されちゃいました

「ソトコト」。それは、全国の書店で売っているソーシャル&エコ・マガジン。
発行部数は神二新聞の10倍以上。そんな雑誌から、
なんと神二新聞へ取材の依頼がありました。
いよいよ私たちも全国デビュー…という感慨より先に、
「撮影されるなら痩せなきゃ!」と浮足立った編集部。
取材の舞台裏をちょっぴりお見せします!

神二新聞が掲載された「ソトコト2018年1月号」を持つデザイナー和田。「ソトコト」の写真に合わせて神二商店街の路上で撮影。

クリーニングシマダ

玉川屋

フジタフォート

ソトコトの山本さん、カメラマンさん、神二新聞編集部で神二のお店へ。左の写真のみなさんがどんなコメントをしたかは、「ソトコト1月号」でチェック!

神二新聞だけで6ページも!?

普段、取材を「する」ことはあっても「される」ことはない神二新聞編集部。「こんなに狭いエリア限定のフリーペーパーは初めて見た」と言うソトコト編集部の山本剛史さんに「6ページで取り上げたい」と言われても、にわかに信じられなかった。だってA4変型のソトコトで6ページって、神二新聞全ページより面積多いですよね？　手の込んだドッキリかと疑いつつ、取材OKの返事をした。

取材を受けた真の目的は…

「読者である街の人たちにとって、神二新聞はどんな存在なのか取材したい」という要望を受け、いつもお世話になっている6人に協力を仰いだ。取材中、「神二新聞をきっかけにお客さんとの会話が増えた」なんてうれしいお言葉も聞けて、思わずニヤニヤ。寒風吹きすさぶ神二を5時間ほどうろつき、ひきつる笑顔を抑えての撮影も無事終わり、１日がかりの取材「され」体験は幕を閉じた。

取材のため、神二に5回も来てくれた山本さんに「神二に住みたくなりましたか？」と尋ねると「はい」と即答。そして偶然にも、山本さん行きつけの美容院が来年1月、神二に新店舗を構えるらしい。彼が神二に引っ越してくる日も近いだろう。さらに神二に興味をもったソトコト読者が2、3人は引っ越してくるに違いない！　これを読んでいる「神二外」のあなた。引っ越しの際には、片付け大好きな編集部上野がお手伝いしまっせ〜!

神二新聞が載るページをチェックするため、築地にある木楽舎・ソトコト編集部に乗り込んだ松村、和田、上野。

神宮前二丁目新聞を一緒に作りませんか？

神宮前二丁目で暮らす人・
働く人・遊ぶ人なら誰でもOK！

情報提供・企画参加

隠れた達人、探してます

「本業とは関係ないけど実はこんなことが得意」という人、とっておきの知識、技を神二新聞で披露してください！

あなたに代わって編集部が取材します

神二で気になるお店や人、ウワサなどありませんか？　あなたの知りたいことを、編集部が代わって取材します！

応募先

WEBサイトはこちらから

神宮前二丁目新聞　検索

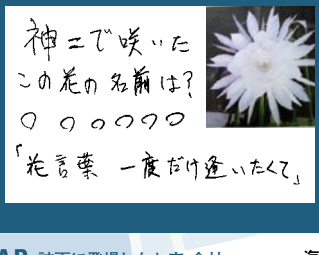
トップ→応募→
誌面登場＆制作協力への応募

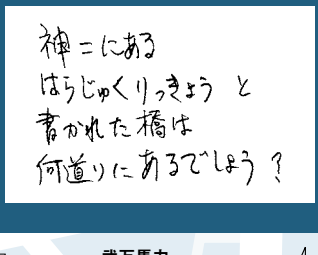
神二新聞第10号に掲載した「神二検定」の答え

Q1	神宮前二丁目商和会	Q8	スター美容室	Q15	ハンガリー
Q2	トルコ／エストニア	Q9	じんじん	Q16	渋谷（川）
Q3	青山熊野神社	Q10	旦過	Q17	irodori
Q4	ヤマザキショップ原宿店	Q11	ラーメン屋	Q18	コーヒーショップ
Q5	サイイン写真館	Q12	6位	Q19	6台
Q6	佐藤印刷（サトプリ）	Q13	勢揃（せいぞろい）坂	Q20	原電ビル
Q7	ロートロ	Q14	ペポカ（サングチェリア クチ）		

神二の「玉川屋」店主・中村さんから問題！

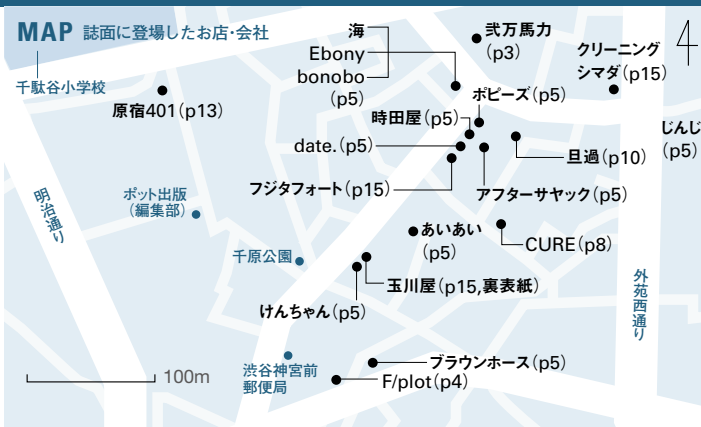
「神二検定」の追加問題を、神二歴60年以上の中村さんが考えてくれました。
正解は玉川屋で中村さんに聞いてみてね！





神宮前二丁目新聞 第11号
2017年12月28日発行　8,000部
両面4Cマットコート90kg
発行▶ポット出版　**表紙イラスト**▶市村ゆり
制作協力▶認定NPO法人
グッド・エイジング・エールズ

問い合わせ先
電話▶03-3478-1774
住所▶神宮前2-33-18 ビラ・セレーナ303号室
メールアドレス▶jin2shinbun@pot.co.jp
Web▶http://jin2news.net/

次号のお知らせ

「神宮前二丁目新聞」第12号は
3月10日（土）に発行予定！